



千葉労働動員

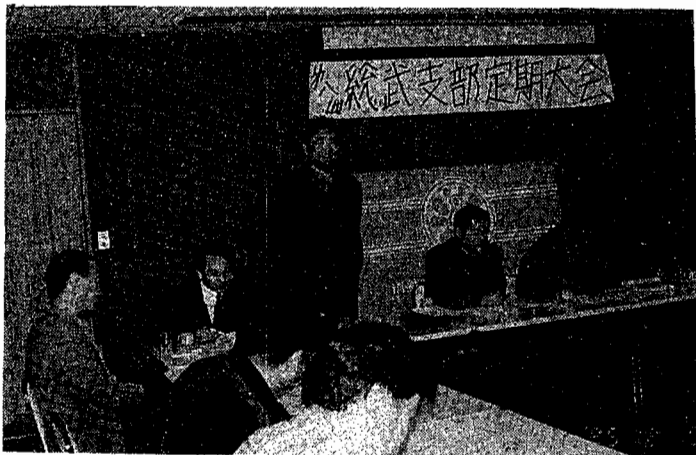
国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

95.12.12 No.4310

96年にはばたく

総武・新小岩 支部大会開催!



(挨拶に立つ長田支部長)

十二月五日、七十二時間スト貫徹後最初の支部大会として注目される中、意気高く第八回定期大会をかちとった。
十年來の大きなストを完璧に打ち抜いた自信と確信が会場に満ちていた。全員強制配転者という条件の中、年休などの手配で結集し、率直な意見交換と交流を行ない九六年へのスタートを早くも切ったという感じである。
長田支部長は「支部解散!! 動員千葉の前進という奇妙な立場にある、大会が二桁にならない

諸悪の根源・JR総連解体へ

総武支部第八回大会開く・12/5

よう、JR総連解体・強制配転粉砕めざしがんばろう」と、決意を述べた。

出席者全員も「総武支部は小なりといえど闘う支部として大いにやるぞ」という誓いを胸に終了した。

95年度総武支部役員

役職名	氏名	歳
支部長	長田 敏之	37
副支部長	高野 隆	52
書記長	吉野 幸成	47
書記次長	杉本 則夫	37
執行委員	大塚 明	45
"	岡安 正人	38

第十八回新小岩支部

12.9 定期大会開催!

96年を貨物の年に!

「解雇撤回・清算事業団闘争勝利、貨物合理化―基地統廃合を許さず、九六・三ダイ改阻止、JR間賃金格差を許さず、六〇才まで働ける労働条件の確立を

目指し、支部組合員一人一人が徹底さを認識し、自ら参加・行動する労働運動を創ろう」をメインスローガンに、一二月九日、新小岩支部第一八回定期大会が開催されました。

はじめに、柴崎支部長は、この一年間の闘いを総括し、「来年は、分割・民営化一〇年目の見直し、JR体制の再編攻撃の出発点としての一年間であり、組合員の意思統一の場としてこの大会を成功させよう」と発言。

続いて、来賓あいさつでは、国鉄闘争葛飾支援協と東京東部労組交流センターの仲間、中野委員長から七十二時間ストライキの総括と九六年の闘いについて話されました。

君塚新支部長選出!

執行部から方針提起をうけての質疑応答では、出向者の近況、早期退職や貨物の将来展望の問題、青年部から支部の最先頭で闘う決意表明がありました。

新役員体制が確立され、君塚新支部長は、「JR一〇年目の総括評価の中で貨物に矛盾が集中しており、来年は、緊急三カ年計画の一年めの年であり、たいへんな年となりますが、支部組合員一致団結して、来年を貨物の年とするために九六年へ自信と確信をもって闘おう」と決意がのべられました。最後に団結ガンパローをもって大会は成功裡のうちに終了しました。

95年度新小岩支部役員

役職名	氏名	歳
支部長	君塚 正治	45
副支部長	的場 正和	44
書記長	大竹 哲治	35
書記次長	服部 和夫	36
執行委員	加瀬 武正	50
"	村田 茂雄	37
"	斎藤 隆男	36
"	鎌形 哲男	35
"	並木 敬治	35
特 執	柴崎 良夫	53
"	飯田 三男	53
(青部長)	樋口 徳浩	32
会計監査	米本 康	53
"	高橋 一成	50

(君塚新支部長と闘う決意の新小岩支部)

